モジュール2：敬意と影響力をもって物語を集める

1. 振り返りのきっかけ

あなたが話を聞きたいと思う人物を一人考えてみてください。

- 誰だ？ _____
- なぜ彼らの話を聞きたいのですか？

2. ベストプラクティスチェックリスト

面接前と面接中にこのリストを活用してください。会話準備が整った各ステップにチェックを入れてください。

丁寧に準備してください

- 日系人の歴史や家族用語について少し学んでみましょう（*Issei, Nisei, Sansei*）
- あなたの意図を明確にしてください（例：「私たちの子供たちに、私たちがどこから来たのかを知ってほしい」）。
- 暖かく快適な場所を選びましょう（キッチンテーブル、庭、リビングルームなど）。

敬意を示す

- 感謝の気持ちを表すことから始めましょう（お礼状、ちょっとした贈り物、みかんなどの果物）。
- 敬意を持った呼び方（「さん」「おばあさん」「おじいさん」）を使用してください。
- 間や沈黙には辛抱強く付き合ってください。

好奇心を持って質問する

- 「～について覚えていることは何ですか？」といったように、自由回答形式の質問を使用してください。
- 優しくフォローアップしましょう（「それについてもう少し詳しく教えていただけますか？」）。
- 物語の流れに身を任せ、焦らずに進めよう。

難しい話は優しく扱う

- 押し付けるのではなく、「共有していただけますか？」と尋ねてください。
- 「ノー」を尊重しましょう。
- 感情が湧き上がってきたら、静かに座っていてください。

その瞬間を超えた物語を尊重しよう

- 最後に心から感謝の意を伝えましょう。
- 録音のコピーを共有してください。
- また訪れてください。信頼関係は時間とともに深まります。

3. 振り返り演習

次の機会に取り入れられる、敬意を表すジェスチャーを1つ書き出してください。会話/インタビュー:

_____
_____

あなたがぜひ聞いてみたい質問を一つ書き出してください。

_____
_____
_____

4. 物語の断片の例

「私が10歳の時、バンクーバーの家を出なければならないと言われました。父はちょうど庭の手入れを終えたばかりで、母は前日に饅頭を焼いていました。私たちはスロカンに送られました。寒い冬のことは覚えています。でも、食べ物を分けてくれた近所の人たちの優しさも覚えています。すべてを失いましたが、それでも私たちは集まってお盆の踊りを踊りました。そうやって私たちは生き延びたのです。人々の繋がりのおかげで。」

これを参考にしてみてください。相手の話を聞く際に、困難と回復力の両方を受け入れるための心の余裕をどのように持つことができるかを考えてみましょう。

5. 迅速な対応ステップ

この文を完成させてください。

「私は、敬意をもって物語を収集するための準備をします。
_____。」

6. インスピレーションを与える引用文

「敬意をもって物語を集めることは、過去を保存するだけでなく、現在における人間関係を強化することにもつながるのです。」

関連ツールキットセクション：*高齢者へのインタビューに関するベストプラクティスガイド*